

大人が変われば 子どもも変わる

「私たちは、大人の背中を見て成長していきます。

やっぱり、大人がきちんとした行動をとっていなければ、

私たちもその大人のようになってしまおうと思います。

私はこれから先、“いい生き方”をしている大人に

出会えたらいいなと思います。」

(十六歳・高校生)



子どもたちから、

一筆啓上。

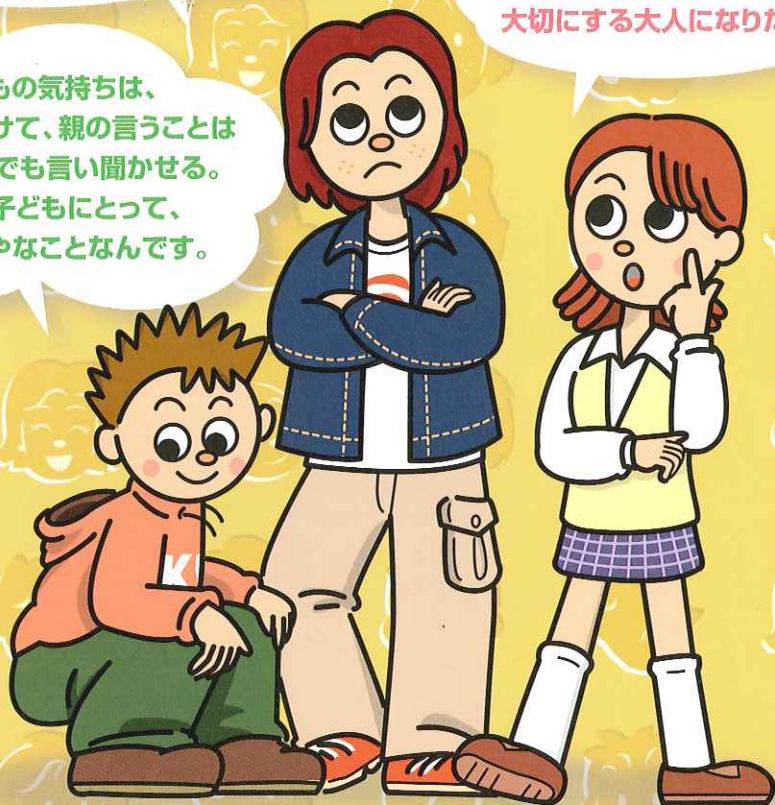
お父さん!
たばこばかりすつとつたら、
早よ死ぬぞ!

大人は私たちを、子どもで、
何もできひんと思わんといてほしい。
そしてもっと私たちの考えを聞いて、
地域とかに活かしてほしい。

子どもの気持ちは、
すぐはねのけて、親の言うことは
むりやりにでも言い聞かせる。
それは子どもにとって、
とてもいやなことなんです。

お父さん!お母さん!
今まで本当にありがとう。
面と向かって言えないけど、
二人の子どもでよかった!

子どもやまわりの人の
気持ちをわかってあげたり、
大切にできる大人になりたい。



まずは、大人自身が変わること。

子どもたちの健やかな成長にとって、親や大人、地域の役割と責任は重大です。さあ、ご一緒に、身近なところから、できることから、始めましょう！

- まず、自分自身を振り返って、過剰な利己・個人主義は見直す。
- 子どもたちと正面から向き合って対話を深め、善悪の判断、いのちや自然を思いやる心を育てあげる。
- 子どもたちを取りまく地域環境に気を配り、その改善に努める。

そんな、大人一人一人の努力の積み重ねが、子どもたちにとって、大きな励ましとなり、行動の手本となると思います。

そして…



友だちづくりを支援しよう。

子どもたちにとって、「子ども集団」は、人間関係を学び、ルールを学ぶ、いわば「社会力を身につけるための第1ステップ」といってもいいでしょう。

子ども集団をつくりあげていくのは、子どもたち自身の課題なのです。大人がその課題を奪ってはなりません。

例えば、子ども会の運営は子どもに任せてみませんか。大人はそれをしっかりと見守ってやればよいのです。失敗したっていいじゃありませんか。そうやって私たちが育ってきたのではありませんか？

そして、地域が変わること。

子どもたちの生活に積極的にかかわろう。

地域にはさまざまな人々が暮らしています。それだけ多様な体験ができる「場」があります。

「大人の仕事だから」子どもたちはしなくていい、ではなくて、子どもたちも立派な地域の構成員であることを知ってください。

ボランティア活動体験、職業体験、地域行事への参画、防災訓練など、大人たちといっしょに多様な体験をすることで、子どもたちは地域を体験的に学び、大人とかわることで「社会力」は培われます。

町づくり、地域づくりに、今こそ子どもたちの出番を作り、いっしょにやっていきませんか？

心やすまる居場所づくりに努めよう。

子どものための遊び場や、安心して活動できる場所が少なくなっています。家庭、学校、公民館、児童公園…子どもにとって、もっとも身近な場所を、もっと心休まる「いい場所」に変えていこう。



私の親は、そんなに厳しくない
(むしろのんびりした)両親ですが、
悪いことは悪い、怒るときは怒ってくれます。
今の大人に足りないところは、そこだと思います。
現実から逃げないで、子どもと向き合う、
そして厳しくも優しい目で
見守ってほしいと思います。

子どもたちの豊かな心を育むために

子どもたちの非行・いじめ・不登校など、今、青少年の問題が大きくクローズアップされています。これらの問題は子どもたちに責任があるのでしょうか。

「子どもは社会を映す鏡」と言われますが、私たち大人がエリを正すことがまず大切ではないのでしょうか。

その上で、今の子どもたちのおかれている現状を直視し、子どもたちが本来持っている豊かな感性やチャレンジ精神を存分に発揮し、共に生きる"豊かな心"を育てていくことのできるような家庭・学校・地域を築こうではありませんか。

今、すべての大人が試されています。

青少年の心を育てるキャンペーン

～大人が変われば 子どもも変わる運動～

- 1 「まず、大人自身が変わる」啓発運動の推進**
すべての大人が、“まず、自分自身が変わらなければ”と気づき、行動する活動です。
- 2 「地域のおじさん・おばさん運動」の推進**
“地域の子どもは、地域で守り育てる”という気持ちで、子どもたちを温かく見守り、支援する実践活動です。子どもの健やかな成長を願う、大人みんなの活動です。
- 3 「モラルの向上を目指した取り組み」の推進**
今の時代に求められるモラルのあり方や人の生き方などについて協議研究し、その普及をめざす活動です。

社団法人 京都府青少年育成協会

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入
丁子風呂町104番地の2
京都府庁西別館内

TEL:075-417-0602

FAX:075-417-0603

e-mail:kpyda@cello.ocn.ne.jp